



# ま と い

## 第17号 広報誌

発行:内灘町消防団 内灘町字鶴ヶ丘 2丁目 610番地  
TEL 286-3301 FAX 286-4447

◎内灘町消防団長 就任の挨拶  
団長 月野 秀人

平成26年4月1日付で消防団長に就任しました月野秀人です。

平素より、町民の皆様方には消防団活動に、ご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

浅学非才ではございますが、関係機関の皆様及び団員からのお力添えをいただき、内灘町の安心・安全のために活動を行う所存でございます。

消防団の任務が更に重要性を増す中、今以上に技術と知識の向上を図り、信頼される消防団組織を構築してまいりたいと考えております。

最後になりますが、関係各位のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



内灘町消防団  
団長 月野 秀人

### ◇消防団120周年・自治体消防65周年◇

昨年は、昭和23年3月7日消防組織法が施行され、自治体消防が発足して65周年、また、明治27年消防組規則の制定により全国的に統一した消防組（消防団の前身）がスタートしてから120年目の年となりました。消防団が組織されるまでの歴史は次のとおりです。

#### 消防団の歴史

○1718年 「町火消」

いろは48組と本所・深川16組の総称で町屋の火災に従事した火消のことです。町奉行、大岡越前守忠相から各名主に対して、町火消設置の命が伝えられ、町火消組合が創設されました。

○明治5年 「消防組」

名称を消防組と改め、新たに消防組39組を編成しました。また、明治7年には古い思想を打破し規律を正し、進退賞罰を明らかにし、職務の心得を説き、消防人としてのあり方を示した「消防章程」が制定されました。

○昭和14年 「警防団」

消防組とは別に昭和5年に誕生した「防護団」が設立されました。防護団は法令に基づくものではなく市町村長によって任意に設置される団体で、消防組員が兼務していることが多く、昭和14年には警防団令が公布され、消防組と防護団を合体させた警防団が発足しました。

○昭和22年 「消防団」

「消防団令」公布に伴い従来の警防団が廃止され、新たに全国の市町村に消防団が組織されました。その後、昭和23年に消防組織法の一部を改正する法律が施行され、消防組織法に根拠を置く消防団が誕生し、消防団令が廃止されました。

○現在 「内灘町消防団」

内灘町には、1つの消防団4つの分団があり、89名の消防団員が活躍しています。

# 平成25年度表彰受賞者

●石川県知事表彰

銀杯授与

米田 明彦 (第1分団 副分団長)  
 徳田 秀樹 (元第4分団 分団長)

永年勤続功労章

並田 忠政 (第1分団 班長)  
 飯田 尚 (第4分団 班長)

●石川県消防協会定例表彰

功労章

並田 忠政 (第1分団 班長)

功績章

清水 信彰 (第1分団 班長)

勤続功労章

池田 一也 (第2分団 団員)  
 浜本 春樹 (第2分団 団員)  
 吹上 撰 (第2分団 団員)  
 中居 三彰 (第4分団 団員)

●内灘町長より功労章 (勤続5年以上)

樋 大樹 (第1分団 団員)  
 北 徹 (第3分団 団員)  
 河合 隆行 (第3分団 団員)

●内灘町消防団長より功労章 (勤続3年以上)

根来 真也 (第1分団 団員)  
 高道 公平 (第2分団 団員)  
 中新 裕也 (第3分団 団員)  
 野口 涼介 (第3分団 団員)  
 森 博明 (第4分団 団員)  
 坪内 大輔 (第4分団 団員)

●内灘町長より退団報償 (感謝状)

狭間 一也 (元第1分団 分団長)  
 連 義則 (元第1分団 団員)  
 小笠原 暢 (元第1分団 団員)  
 銭丸 一久 (元第2分団 分団長)  
 八十出 憲克 (元第2分団 班長)  
 松川 学 (元第2分団 団員)  
 池田 一也 (元第2分団 団員)  
 徳田 秀樹 (元第4分団 分団長)  
 生田 勇人 (元第4分団 団員)



# 消防団の年間行事及び活動報告

## 出初式〔1月4日（土）〕

雪が降りしきる厳しい寒さの中、毎年恒例のふんどし姿で勇ましく放水をして1年間無火災であるよう祈願しました。



▲消防団員の放水風景  
河北郡市消防団出初式▼



## 文化財防火デーに伴う火災防ぎよ訓練〔1月26日（日）〕

昭和24年1月26日の文化財防火デーが制定され、内灘町では小濱神社が町指定文化財となっており、小濱神社で火災発生との想定で、住民の方々が貴重な文化財を守るために搬出し、消防署・消防団は火災を最小限に抑えるために連携を確認しました。



## 火災予防運動に伴う火災防ぎよ訓練〔3月23日（日）〕

内灘町消防団は、火災予防運動期間中に火災予防広報や住宅用火災警報器の普及啓発に努めています。また、期間中は消火技術向上及び消防署との連携を高めるために火災防ぎよ訓練を実施しました。



## 河北郡市消防団連合訓練〔6月15日（日）〕

津幡町河北潟野菜集出荷場にて河北郡市の23ヶ分団が迅速性と確実性を競うポンプ車操法と規律・節度を審査する小隊訓練が行われました。内灘町からは4ヶ分団が出場し、訓練の成果を発揮し健闘しました。



▲ポンプ車操法



▲表彰式

# 団員だより

## 平成26年度防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあただよ」

## 消防団入団促進標語

「入団を 決めた勇気が 第一歩」

### 平成26年度河北都市消防団連合訓練成績

#### ◇総合の部

準優勝 内灘町消防団 第2分団

#### ◇ポンプ車操法の部

準優勝 内灘町消防団 第2分団 (第62回石川県消防操法出場決定!)

第8位 第3分団

第13位 第4分団

第14位 第1分団



#### ◇消防団員募集◇

あなたも、内灘町の消防団に入団しませんか？  
消防団とは、消防本部と同様の消防機関のひとつです。消防団は地域における消防防災の要であり、平常時・災害時を問わず、地域の防災のリーダーとして町民の皆さんの安心と安全を守っています。  
※入団希望の方は内灘町消防本部庶務課までお電話ください。  
内灘町消防本部 庶務課 286-3301

#### 消防団員出動状況 (平成25年4月～平成26年3月)

項目	出動回数	出動人員
災害出動	5回	211名
警戒・巡回	16回	185名
火災防ぎょ訓練	3回	107名
各地区防災訓練	11回	110名
操法訓練	59回	2166名
車両機械器具点検	14回	90名
その他	15回	150名
合計	123回	3019名